

【平成29年5月1日から平成29年11月30日までに婦人科手術を受けた患者さんへ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

【研究タイトル】

0.125%レボブピバカインとフェンタニル添加0.0625%レボブピバカインとフェンタニル添加0.1%ロピバカイン*¹を用いたPCEA*²による鎮痛とPONV*³を中心とした比較検討

*1: 0.125%レボブピバカイン、フェンタニル添加0.0625%レボブピバカイン、フェンタニル添加0.1%ロピバカインとは、ある身体の一部の痛みを止める局所麻酔薬(きよくしよますいやく)の一種のことです。

*2: PCEA (patient-controlled epidural analgesia、以下PCEA) とは、患者さんが自分の痛み具合に合わせて自分で麻酔薬の量を調節できる器具のことです。

*3: PONV (Postoperative nausea and vomiting、以下PONV) とは、麻酔から覚めた後に気分がわるくなり、吐き気やもどしたりする症状のことです。

【研究背景・目的】

この研究は、局所麻酔薬(きよくしよますいやく)であるレボブピバカイン1種類を単独で使用した場合、手術後の吐き気やもどしたりするPONVの症状が改善するのではないかと考え、通常診療における麻酔方法としてレボブピバカイン単独で投与した患者さんとレボブピバカインにフェンタニルを併用した患者さん、ロピバカインにフェンタニルを併用した患者さんの3つの群について、痛みの軽減とPONVについて、過去のカルテからの記録や情報を遡り比較検討を行ないました。

【研究期間・取得情報】

- ・研究期間は、平成29年4月1日から平成30年5月19日
- ・対象：平成29年5月1日から平成29年11月30日までに婦人科手術を受けた患者さんのうち、術後硬膜外鎮痛を受けた患者さん
- ・取得情報：術後疼痛スケールNRM、PCEAカウンターを用いてPCEAを押した回数と空打ち回数、鎮痛補助薬、術後嘔気嘔吐、使用制吐剤、下肢しびれ・脱力、血

圧、呼吸回数、身長、体重、車酔いの有無

【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

- ・ 診療記録を複写・印刷する場合の料金：枚数×20 円＋消費税

【研究組織】

研究責任者：飯塚病院 麻酔科 小西 彩

【問い合わせ先】

飯塚病院 麻酔科 小西 彩

〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83

TEL：0948-22-3800（代表）